『コア講義　分子遺伝学』正誤表

（田村隆明 著，裳華房 刊）

（2025/1/27 現在）

第 2 版 5 刷（2025 年発行）にて修正予定　（誤→正）

頁	行・見出番号	誤（修正箇所）	正（修正・加筆方法）
7	図 1・4	カゼイン加水分解菌	カゼイン加水分解物
103	図 10・1	（塩基数：kb）	（塩基数）
103	図 10・1	mRNA：0.5～6000	mRNA：500～600000
113	11 行目	コザック配列（RCCAUGG）をもつ	「をもつ」を「にある」にして 2 行下の「最初の」の前に移動
114	図 11・4	コザック配列	翻訳開始領域
114	図 11・4	翻訳開始因子	コザック配列
123	図 12・2	5S RNA	5S rRNA

第 2 版 4 刷（2024 年 4 月発行）にて修正済み　（誤→正）

頁	行・見出番号	誤（修正箇所）	正（修正・加筆方法）
85	下から 6～5 行目	[「なお～関与するが，」を以下に差し替える．] なお tRNA 前駆体の 5′ 末端除去には RN アーゼ P という酵素が関与するが，	

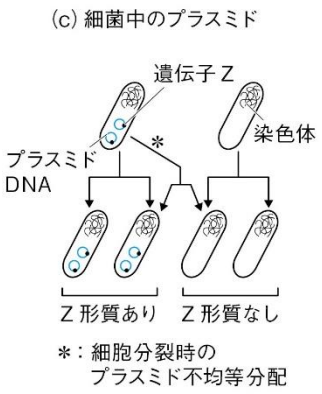
第 2 版 3 刷（2023 年 3 月発行）にて修正済み　（誤→正）

頁	行・見出番号	誤（修正箇所）	正（修正・加筆方法）
69	表 7・2	表中の「紫外線」を 1 行下げる。	
114	6	**集結**	**終結**

第 2 版 2 刷（2022 年 3 月発行）にて修正済み　（誤→正）

頁	行・見出番号	誤（修正箇所）	正（修正・加筆方法）
74	8	「など」　を削除	
	9～10	最後	最終的

第 2 版 1 刷（2020 年 10 月発行）にて修正済み　（誤→正）

頁	行・見出番号	誤（修正箇所）	正（修正・加筆方法）
34	図 4・3	3.4nm　34nm　10nm	0.34nm　3.4nm　1nm
37	図 4・6	除冷	徐冷　［2 ヵ所］
66		図 7・1	図 7・2
80	図 8・3	δ 因子	σ 因子
82	8	**基本転写**	**基本転写因子**
92	11	異化代謝産物（カタボライト）によって	糖の異化代謝産物（カタボライト）に関して
128	図 12・7（a）	164bp	146bp
	4～5	顕微鏡で核を染めると…**ヘテロクロマチン**が観察されるが,	核を染めると…**ヘテロクロマチン**が顕微鏡で観察されるが,
137		図 13・6	図 13・7
153		図 14・10	図 14・9
154		図 14・11	図 14・10
165	索引　き	基本転写　82	基本転写因子　82

図の修正	19 頁 図 3・2　細胞質の要因が形質に関わる例
	（c）を以下に差し替える